

特殊詐欺対策通信

特殊詐欺発生状況 (※SNS型投資・ロマンス詐欺は含まれません)

10月中	件数	金額	1~10月	件数	金額
R6年	19	約6,860万円	R6年	126	約3億5,180万円
R5年	12	約2,450万円	R5年	148	約4億7,040万円
増減	+7	約+4,410万円	増減	-22	約-1億1,860万円

※金額欄は端数を四捨五入しており、金額の増減と一致しない場合があります。

SNS型投資・ロマンス詐欺発生状況 (※特殊詐欺には含まれません)

10月中	件数	金額	1~10月	件数	金額
R6年	5	約5,270万円	R6年	118	約14億8,620万円
R5年	5	約4,800万円	R5年	23	約1億6,050万円
増減	±0	約+470万円	増減	+95	約+13億2,570万円

※当面の間、特殊詐欺に類似するSNS型投資・ロマンス詐欺の件数・金額を掲載します。

10月中の主な手口 (架空料金請求詐欺)

架空料金請求詐欺の手口一例

被害者が携帯電話でアプリの動画を見ていたところ、「副業」の広告が流れてきたので、興味本位で広告をクリックしたところ、雇用主(犯人)と繋がり、作業として「送られてくる動画をスクリーンショットし、そのスクリーンショット画像を送り返す」という内容の説明を受けたことから案内されるまま試しにやってみたところ、実際に報酬を得ることができた。

すると、犯人から高収入を得ることができるとして「指定された投資アプリにお金を入金し、指示に従って投資アプリを操作すれば報酬が貰える」作業を勧められ、1万円を入金して作業を行うことで3,000円の報酬が得られることの説明を受けた。

そこで、被害者が高収入を得られる作業を行うため、1万円を投資アプリに送金したところ、エラーで出金できなくなり、さらに犯人の指示どおり作業を行ったはずが「あなたはミスを行った。儲け分の5倍の違約金を支払う必要がある。」などと言われ、指定された口座に違約金として金銭を振り込まされたもの。

※ 県内では、副業名目の架空料金請求詐欺を多く認知しています。簡単に稼げる」などと謳うバナー広告・ウェブサイト等には、安易にアクセスしないようにしましょう。何らかの理由を付けられて支払いを求められた場合には、一人で判断せず、必ず支払いを行う前に家族、警察等に相談しましょう。

未然防止紹介

10月中、新見郵便局では、窓口を訪れた来店客が「年金の過払い金を受け取る手続きをするために郵便局に来た。」などと話したことから、詳細な内容を聞いて詐欺と見破り、還付金詐欺を未然に防止しました。

セブンイレブン岡山西大寺駅前店等では、電子マネー購入者に声を掛けるなどして架空料金請求詐欺被害を未然防止しました。

このほかにも、金融機関やコンビニエンスストアなどで合計20件の特殊詐欺被害、SNS型投資・ロマンス詐欺被害を未然に防止することができました。

ココに「技あり」!

新見郵便局の方は、還付金詐欺の手口を把握していたからこそ、内容から来店客が被害に遭っていることを見抜くことができました。また、各コンビニエンスストアでは、各店舗責任者が電子マネーカード購入者に購入理由を確認する指導ができていたからこそ、架空料金請求詐欺被害を未然に防止することができたもので、いずれも水際対策の好事例です。